

本日は、ようこそ、東京都立城東高等学校のホームページにアクセスしていただき歓迎申し上げます。私は、校長の小峯健治です。

「東日本大震災」から1年目を迎えた去る3月11日には、追悼の法要やミサが被災地はもとより、全国各地、海外でも行われました。改めて亡くなられた方々に哀悼の意を表します。また、被災されました方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

さて、本日は、新年度を迎えての本校の情報です。

[江東・城東高生徒「地域で集めた」54万152円を寄託]

これは、東京新聞4月7日の朝刊の記事の見出しです。本校の1年生が3月に「奉仕体験活動」の一つとして実施した東日本大震災義援金の募金活動の紹介記事です。昨年3月には、震災直後から生徒会とJRC部（ボランティア活動の部）とが本校の校門において募金活動を開始、1年生の奉仕体験活動（現3年生）で、亀戸駅など3駅周辺で募金活動を行い、併せて100万円を超える募金が集まり、郵便局から日本赤十字社に送金しました。その御礼の記事を本ホームページや「城東高校便り」で掲載しました。今年の3月17日（土）、同じく1年生の奉仕体験活動で4チームが東日本大震災義援金の募金活動を亀戸駅、錦糸町駅、浅草橋駅で実施、24日に亀戸駅で1チームが募金活動を行い、合計50万152円が集まりました。この全額を被災3県の復興支援に役立ててもらうために、東京新聞社を通して送付してもらうこととし、中日新聞社会事業団東京支部・東京新聞社会事業団の大塚啓事務長を本校にお招きし、4月6日（金）24年度始業式後に、本校体育館において義援金贈呈式を執り行いました。各チームがメンバー全員で、それぞれが集めた募金を事務長にお渡ししました。

募金にご協力いただいた多くの皆様に、御礼申し上げます。

[平成24年度第35回東京都立城東高等学校入学式]

平成24年4月7日（土）午後2時、本校体育館において、第35回入学式を挙行了しました。少し肌寒い気候でしたが、緑道公園の桜が満開となり、入学生を祝福するかのようでした。多くのご来賓や保護者のご臨席を賜り、323名の入学生は緊張のうちにも入場、国歌斉唱、校歌紹介のあと入学許可、校長式辞、教育委員会祝辞、PTA会長式辞に続き、新入生代表の『新しい先輩方や先生方と共に過ごす高校生活を思い大きな期待で胸を躍らせています。』『城東高校の教育目標である「自律・友愛・実践」を胸に日々努力し、成長していくことを僕たちはここに誓います。』という力強い宣言がありました。ところで、本校の校歌紹介は、2月に実施した「合唱コンクール優勝クラス」が担当します。昨年度優勝クラスは2年5組でした。優勝から2ヶ月が経ちましたが、力強い合唱力を披露しました。新入生323名も先輩と同様、本校の指導の柱である「学習活動と部活動との両立（文武両道）」、つまり学習活動にも、部活動にも、学校行事にも全力で取り組まれるよう大いに期待します。



城東高校正門付近にある大島緑道公園の様子
(大島三丁目町会主催「さくらまつり」)